

とくに間脳及び内分泌に関係をもち、性欲の強さは男性では20代が最盛、女性は比較的一定の水準が長くつづく（キンゼー）、短い期間をとると、女性は一般に月経前後に高まる。ここでは、性欲だけでなく、広く考え、性的快感を追求するエネルギー全体を性的エネルギーとしてとらえている。

精神衛生センター

昭和40年の精神衛生法の一部改正により、都道府県に精神衛生に関する総合的技術センターとして設置された。精神衛生に関する知識の普及、精神衛生に、関する調査研究、精神衛生に関する相談や指導等、地域住民の精神的健康の保持・向上、精神障害その他の適応障害の発生予防から障害者の保護に至るまで広範囲な活動を行っている。

センターの組織としては、総務部、教育研修部、調査研究部、精神衛生相談部などが置かれており、所長には精神衛生に造詣の深い医師が当てられ、精神科の診療経験の深い医師や精神科ソーシャルワーカー、臨床心理技術者、保健婦、看護婦、作業療法士、検査技術者等の専門家をもって構成している。

なお、本県においては、昭和47年4月に設置された。

福島県精神衛生センター 福島市 Tel 0245 (35) 3556

精神発達遅滞

多様の同一年齢者の精神発達の標準、または、平均発達水準に合わせて、それ以下になっている場合をいう。主として、知覚、言語、思考、認識、判断、創造、記憶などの知的精神機能は、正常な環境で生育している正常者の場合、その年齢の増加とともにしだいに高度になり、複雑になっていくが、これらの精神機能が次のような場合に、標準から遅れてしまうことがある。①胎生期や生後の早期に、脳髄に障害を受けた場合、②両親から受けついで生来の中枢神経系の機能が弱い場合、③発育期に主として、視覚・聴覚などの感覚受容器や発声・発語のための言語機能に障害がある場合、④発育期に身体虚弱や上下肢の不自由などがあって、積極的に行動することができなかつた場合、⑤発育期に性格や情緒の面になんらかの障害がある場合、⑥発育早期に適切な経験や学習の機会が剝奪^{はくたつ}された場合など。発育期になんらかの対策を講ずれば、精神発達が促進され、おくれがとりもどされる場合もあるし、それが不可能で、その